

大分県長期漁海況予報

〔令和2(2020)年8月～12月までの海水温・漁模様の見通し〕



大分県農林水産研究指導センター水産研究部
879-2602 大分県佐伯市上浦大字津井浦194-6

Phone0972-32-2155 Fax.0972-32-2156 <http://www.pref.oita.jp/soshiki/15090/>

海況経過<令和2年4月～令和2年7月>

■黒潮

- ・都井岬沖では、3月～4月、6月は接岸傾向、5月、7月は離岸傾向で推移しました。
- ・潮岬以東では、A型(大蛇行流路)が持続しました。

■水温

豊後水道の水温(0～75m層)は、4・5月は「平年並」、6・7月は「やや低め」で推移しました(図1)。

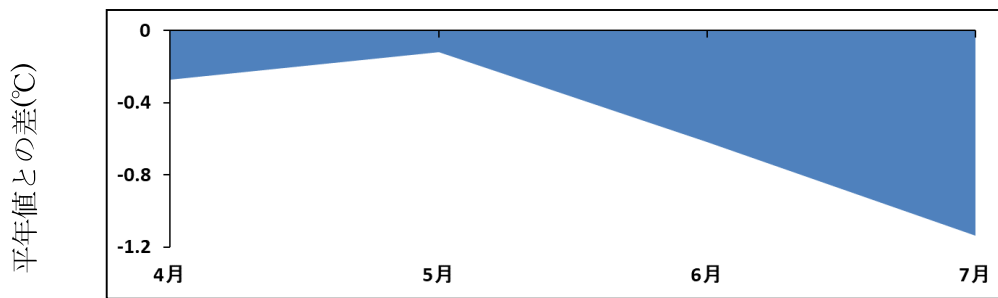


図1 豊後水道における水温の平年値との差(0～75m層の平均値)

■塩分

豊後水道の塩分(0～75m層)は、4・5月は「やや低め」、6月は「平年並」、7月は「極めて低め」で推移しました(図2)。

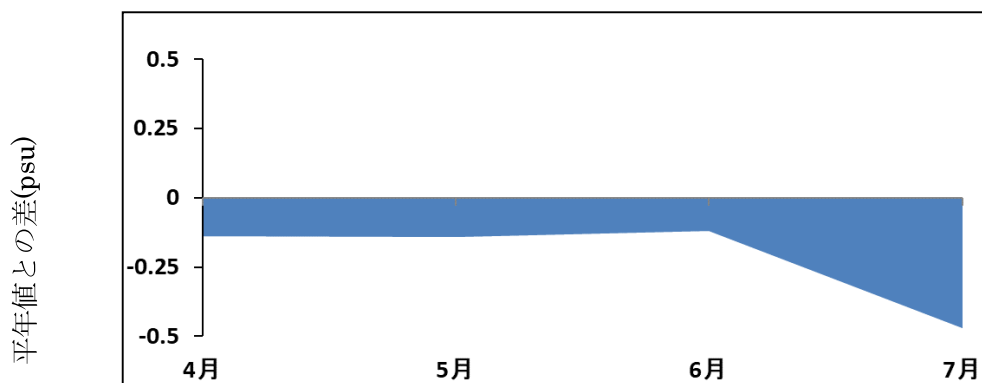


図2 豊後水道における塩分の平年値との差(0～75m層の平均値)

今後の海況の見通し<令和2年8~12月>

■黒潮

- ・都井岬～足摺岬沖では、9月までは離岸傾向で推移し、10月以降接岸傾向で推移するでしょう。
- ・潮岬以東では大蛇行が継続し、その流路はA型(大蛇行流路)基調で推移するものの、一時的にB型(蛇行が緩む)になることがあるでしょう。

■沿岸水温

沿岸水温は「平年並」～「やや高め」で推移するでしょう。

■予測の説明と根拠

- ・黒潮流路予測は令和2年度第1回太平洋いわし類・マアジ・さば類等長期漁海況予報(中央水産研究所及び関係都道府県:2020)を参考にしました。
- ・沿岸水温は気温の影響を強く受けると考えられ、福岡管区気象台の「九州北部地方3ヶ月予報」(令和2年7月22日発表)では気温が以下のように予測されているため。
 - 7月、「低め20%、平年並40%、高め40%」
 - 8月、「低め20%、平年並30%、高め50%」
 - 9月、「低め20%、平年並40%、高め40%」

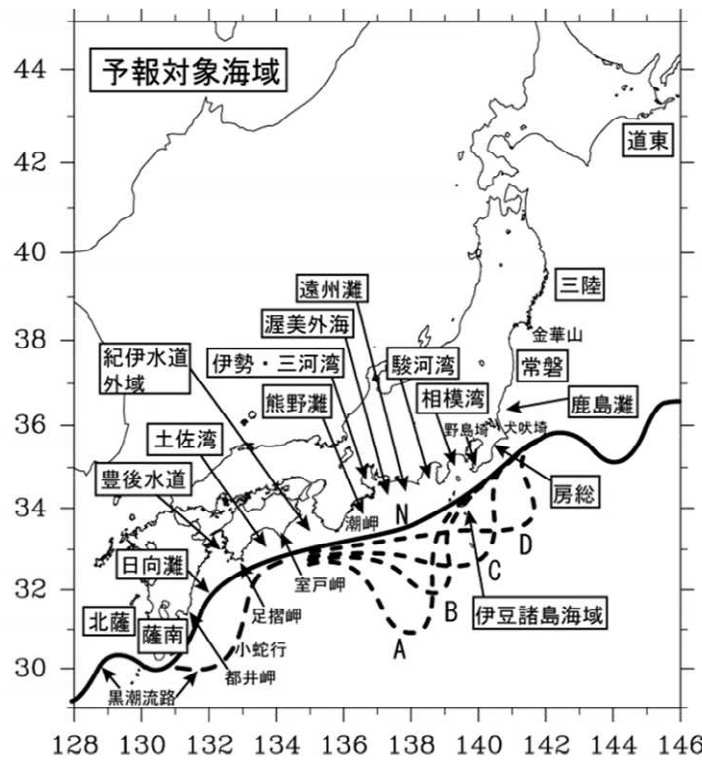


図3 黒潮流型の分類

※上図は太平洋いわし類・マアジ・さば類等長期漁海況予報
(水産研究・教育機構プレスリリース資料)より引用

■マイワシ

□2020年4～6月の漁況経過

2020年4～6月における豊後水道南部主要3港(鶴見、米水津、蒲江)のまき網によるマイワシの水揚量は428トンで、前年比243%、1986～2019年の平均値(以下「平年」)の比12%と、前年を上回りましたが平年を下回りました。水揚の主体は、被鱗体長^(用語解説①)9.0～12.5cm前後の0歳魚(2020年生まれ)でした。

なお、近隣海域^(用語解説②)では宮崎県は前年の161%、愛媛県は前年の3,613%、高知県は前年の103%と、各県好調でした(宮崎県は1～6月、愛媛県、高知県は4～6月)。

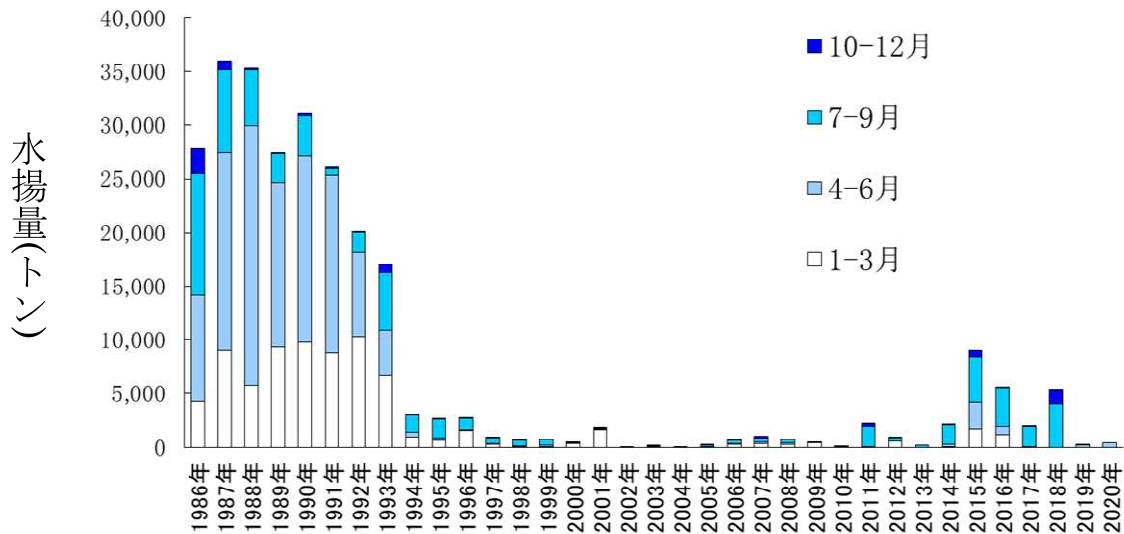


図4 まき網によるマイワシの水揚量(鶴見・米水津・蒲江支店)

今後の見通し<2020年8～12月>

来遊量:

豊後水道への来遊量は、前年を上回るでしょう。(2019年8～12月:28トン)

水揚対象年級群および体長:

8～12月は被鱗体長12～18cmの0歳魚(2020年生まれ)が主体となるでしょう。

【説明】

予測期間中は、0歳魚(2020年生まれ)が水揚の主体になる見込みです。2020年生まれが水揚の主体であった4～6月の水揚量が前年を上回ったことから、予測期間中の水揚に期待が持てるので、前年を上回ると予測しました。



■カタクチイワシ(成魚)

□2020年4～6月の漁況経過

2020年4～6月における豊後水道南部主要3港(鶴見、米水津、蒲江)のまき網によるカタクチイワシの水揚量は767トンで、前年比174%、平年比121%と、前年、平年とも上回りました。水揚の主体は、被鱗体長7.5～10.0cm前後の0歳魚(2020年生まれ)でした。

なお、宮崎県では前年の150%、愛媛県では前年の22%、高知県では前年の205%の水揚量となっています。(宮崎県は1～6月、愛媛県、高知県は4～6月)。

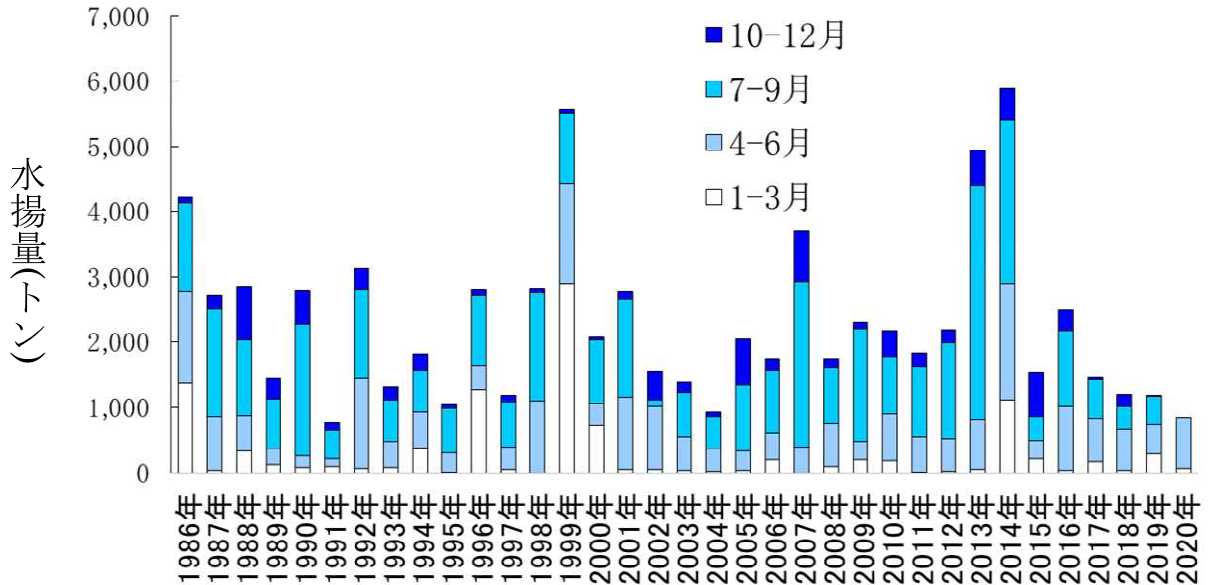


図5 まき網によるカタクチイワシの水揚量(鶴見・米水津・蒲江支店)

今後の見通し<2020年8～12月>

来遊量:

豊後水道への来遊量は、前年並～上回るでしょう。(2019年8～12月:216トン)



水揚対象年級群および体長:

被鱗体長8cm前後の0歳魚(2020年生まれ)主体に1歳魚(2019年生まれ)が混じるでしょう。

【説明】

0歳魚(2020年生まれ)が水揚の主体であった1～6月の水揚量が前年を上回っていることから(前年比174%)、0歳魚の水揚に期待が持てます。一方で、資源状態も考慮し予測は前年並～上回るとしました。

■ウルメイワシ

□2020年4～6月の漁況経過

2020年4～6月における豊後水道南部主要3港(鶴見、米水津、蒲江)のまき網によるウルメイワシの水揚量は14トンで、前年比2%、平年比7%と、前年、平年を下回る水揚量となりました。水揚の主体は、被鱗体長5.5～10.5cm前後の0歳魚(2020年生まれ)でした。

なお、宮崎県では前年の56%、愛媛県では前年の43%、高知県では前年の28%の水揚量となっています。(宮崎県は1～6月、愛媛県、高知県は4～6月)。

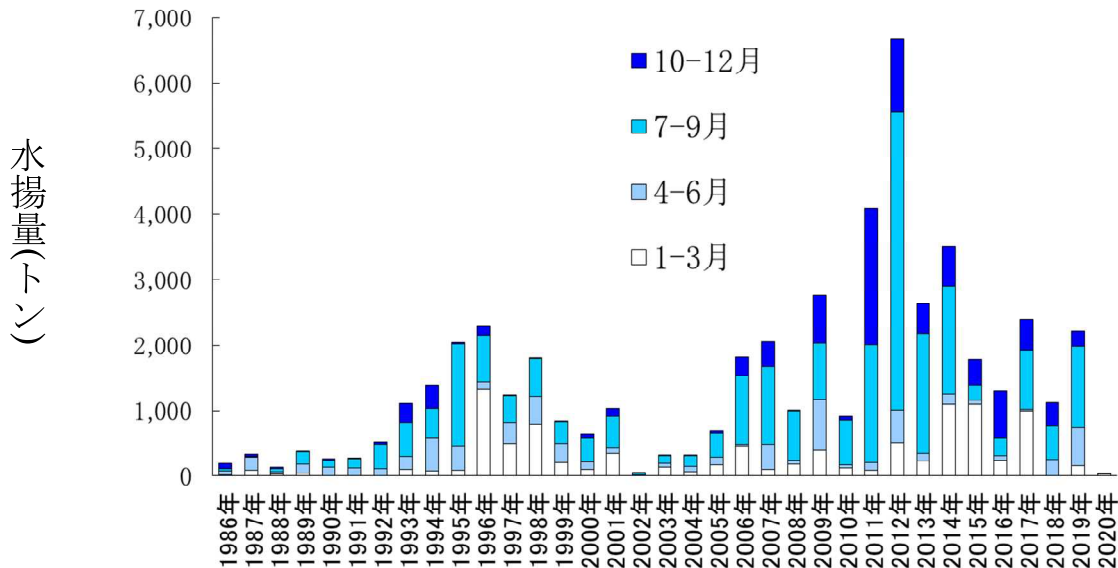


図6 まき網によるウルメイワシの水揚量 (鶴見・米水津・蒲江支店)

今後の見通し<2020年8～12月>

来遊量:

豊後水道への来遊量は前年を下回るでしょう。(2019年8～12月:1, 325トン)

水揚対象年級群および体長:

8～10月は被鱗体長10～15cm前後の0歳魚(2020年生まれ)が主体となるでしょう。



【説明】

0歳魚(2020年生まれ)が水揚の主体となる4～6月の水揚量が前年を下回ったため(前年比2%)、0歳魚の来遊に期待が持てません。さらに昨年8～12月の水揚は近年の中でも好調であったことも考慮し来遊水準は前年を下回ると予測しました。

■マアジ

□2020年4～6月の漁況経過

2020年4～6月における豊後水道南部主要3港(鶴見、米水津、蒲江)のまき網によるマアジの水揚量は213トンで、前年比98%、平年比43%と前年並で、平年を下回りました。期間中の水揚の主体は尾叉長^(用語解説③)13.5～16.5cm前後の1歳魚(2019年生まれ)でした。

なお、宮崎県では前年の32%、愛媛県では前年の109%、高知県では銘柄「アジ」が前年の14%で銘柄「ゼンゴ」が前年の1,444%の水揚量となっています。(宮崎県は1～6月、愛媛県、高知県は4～6月)。

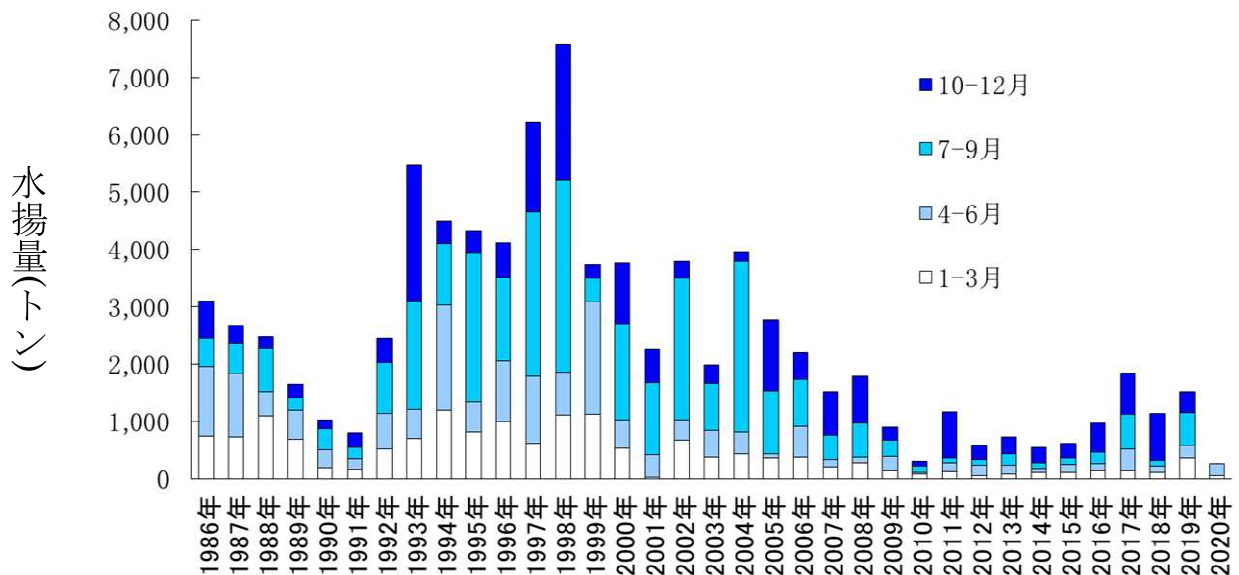


図8 まき網によるマアジの水揚量(鶴見・米水津・蒲江支店)

今後の見通し<2020年8～12月>

来遊量:

豊後水道への来遊量は前年を下回るでしょう。(2019年8～12月:705トン)



水揚対象年級群及び体長:

尾叉長15cm前後の0歳魚(2020年生まれ)が主体となるでしょう。

【説明】

予測期間中に水揚の主体になるのは0歳魚(2020年生まれ)と推定されます。1～6月における豊後水道南部主要3港の水揚量は大型魚が水揚された4～5月を除いて、前年を下回っており、来遊に期待が持てません。また、大分県南部定置網や豊後水道東側においてもマアジ当歳魚の水揚は低調に推移しています。以上のことから、来遊水準は前年を下回ると予測しました。

■サバ類

□2020年4～6月の漁況経過

2020年4～6月における豊後水道南部主要3港(鶴見、米水津、蒲江)のまき網によるサバ類の水揚量は2,196トンで、前年比75%、平年比185%と前年を下回り、平年を上回る漁となりました。期間中の水揚の主体はマサバで、4月は尾叉長33.0～35.0cm前後の4～5歳魚(2015～2016年生まれ)でした。6月には尾叉長15.0以下の0歳魚(2020年生まれ)の水揚もみられました。

なお、宮崎県では前年の68%、愛媛県では前年の45%、高知県では前年の185%の水揚量となっています。(宮崎県、高知県は1～6月、愛媛県は4～6月)。

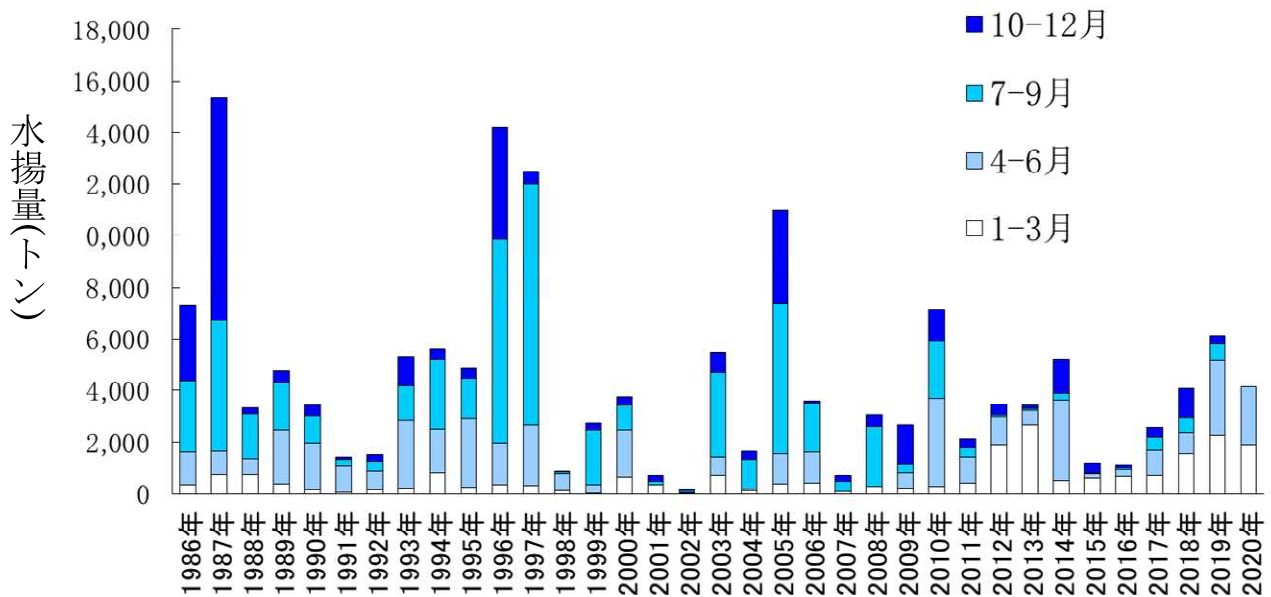


図9 まき網によるサバ類(マサバ・ゴマサバ)水揚量(鶴見・米水津・蒲江支店)

今後の見通し<2020年8～12月>

来遊量:

豊後水道への来遊量は、前年並でしょう。(2019年8～12月:930トン)



水揚対象年級群および体長:

例年、期間中は尾叉長20～30cm前後のゴマサバ0～1歳魚(2019～2020年生まれ)が主体となりますが、近年はマサバの水揚も増加しています。

【説明】

例年、期間中はゴマサバ0～1歳魚が主体となりますが、資源状態を考慮すると来遊に期待が持てません。一方でマサバは資源状態が良好であり、海況によっては来遊に期待が持てるため、比較的好漁であった昨年並と予測しました。

その他

■ 予測の根拠および参考資料

・予測は、中央水産研究所および関係都道府県による、「令和2年度第1回太平洋いわし類・マアジ・さば類など長期漁海況予報会議」結果を基に、最新の情報を加味して行っております。

URL: <http://www.fra.affrc.go.jp/pressrelease/pr2020/20200803/index.html>

■ 用語解説

- ①被鱗体長：体の前端から、尾柄の鱗で覆われている部分の後端までの直線距離。
- ②近隣海域：ここでは、3県（宮崎県・愛媛県・高知県）の海域とし、高知県の水揚量の前年比は宿毛湾における中型まき網によるものとししました。
- ③尾叉長：体の前端から、尾びれの湾入部内縁中央(くびれている部分)までの直線距離。

■ 問い合わせ先

この予報に関する問い合わせ先は、大分県農林水産研究指導センター水産研究部 資源増殖チームまで。

〒879-2602 大分県佐伯市上浦大字津井浦194-6
電話:0972-32-2155
FAX:0972-32-2156